

奨 励 賞 を 受 賞 し て

熊本大学大学院生命科学研究部 製剤設計学分野
助教 東 大志 (ヒガシ タイシ)

この度は、このような名誉ある賞を頂き、身に余る光栄に存じます。東京工芸大学教授 高橋圭子会長をはじめ、選考委員会の先生方に深く御礼申し上げます。

2002 年 10 月、私が学部 3 年生のころ、熊本大学薬学部製剤学研究室 (当時 上釜兼人教授) の学生実習を履修し、シクロデキストリンと出会いました。その 2 ヶ月後、同郷の上釜先生に憧れ、同研究室を志願し、めでたく配属されました。その瞬間、私の趣味は『シクロデキストリン』に変わってしまい、オリジナルのシクロデキストリン誘導體『ヒガ・シクロデキストリン』と『タイ・シクロデキストリン』を開発するという漠然とした目標を掲げ、研究活動に明け暮れました。その目標は未だ達成されていないため、今後の課題にしたいと考えております。

シクロデキストリンは本当に不思議な化合物で、シクロデキストリン研究をしているといろいろな人に出会い、親しくなることができます。例え初対面の方でも、シクロデキストリン研究者であれば、時が経つのを忘れ、話が盛り上がります。まさにシクロデキストリンは“ゲスト”を引き寄せてくれているように思えます。そして、シクロデキストリンを通じて出会った方々は、どのような困難でも“solution (解決)”に導いてくださります。シクロデキストリン研究を通じて生まれた出会い (先生方、先輩方、友人、後輩、学生諸氏、共同研究者) は私にとって、大切な財産でございます。

第 33 回シクロデキストリンシンポジウムでは、シクロデキストリン研究を通じて知り合った 3 名の同級生 (千葉大学 東 颯二郎先生、崇城大学 庵原大輔先生、東京医科歯科大学 田村篤志先生) と CyD 81 (非公式) を結成しました。今後は、この 3 名の先生方にもご協力頂き、シクロデキストリン学会に少しでも貢献できるよう精進していく所存でございます。

本受賞に際して、終始御懇篤なる御指導と御鞭撻を賜りました熊本大学大学院生命科学研究部 有馬英俊教授、本山敬一准教授、熊本大学 上釜兼人名誉教授、崇城大学薬学部平山文俊教授に深甚なる感謝の意を表します。さらに、有益なる御助言と御協力を賜りました熊本大学大学院生命科学研究部製剤設計学分野の卒業生、学生諸氏ならびに共同研究企業関係者の皆様に深く感謝の意を表します。